

● 国内研究助成事業

募集要項

(国内研究助成・国際会議助成)

水環境分野における先駆的、独創的な研究について下記に示す助成対象等に基づき公募する。

1. 助成対象

【国内研究助成】

(1) 助成対象分野

自然科学：A 持続可能な水・環境の保全、再生に関連する先端技術、評価方法、管理手法に関する研究

社会・人文科学：D 水・環境に関する法規制、経済、教育等に関する研究

(2) 区分

萌芽的研究：水環境の改善や新しい技術の創造につながる可能性を秘めた研究であって、原則として35歳以下の若手研究者が遂行する研究。

一般研究：先駆的、独創的な研究により、助成期間(1年間)で一定の成果が見込める研究であって原則として45歳以下の研究者が遂行する研究。

【国際会議助成】

水環境分野における研究成果の発表あるいは国際会議の開催を対象として、原則として下記の条件に基づいて公募する。

国際会議発表助成：平成23年10月～平成24年9月に海外で開催される水環境に関する国際会議での研究成果発表に対する助成。

国際会議開催助成：平成23年10月～平成24年9月に、国内の学会が主催あるいは協賛する水環境に関する国際会議であって、原則として国内で開催される学術会議に対する助成。

2. 応募資格

(1) 日本国内の大学、その他研究機関(民間団体・企業を除く)にて水環境分野の調査研究をしている研究者

(2) 原則として若手研究者(萌芽的研究:35歳以下 / 一般研究:45歳以下)

3. 助成対象期間

原則1年間とする(毎年10月から翌年9月まで)

4. 助成対象者の義務

助成金の交付を受けた者は、下記の提出書類を期限までに提出しなければならない。

【国内研究助成】

(1) 助成研究概要の提出

助成金贈呈式の出席者等に当該年度の助成研究を紹介することを目的とする。

対象区分	提出書類	期限
国内研究助成	・研究概要	選考結果通知の発行日から14日以内

(2) 報告書の提出

研究成果を広く一般に普及すること、および助成金使途の確認を目的とする。

対象区分	提出書類	期限
国内研究助成	・研究成果報告書 ・経理報告書	助成金交付の翌年の10月31日まで

- 研究成果報告書： (1) 指定の報告用紙をダウンロードし、助成期間における研究成果の要約を作成し提出する。
 (2) 公開論文(外部発表、投稿など)のコピーを提出する。
 (3) 助成対象となった研究の成果を投稿あるいは発表する場合は、当財団の研究助成活動を広く知ってもらうことを目的として、論文に「クワタ水・環境科学振興財団」の助成を得たこと(Acknowledgment)を記述する。
- 経理報告書： (1) 指定の報告用紙をダウンロードし、費目別に支出内訳表を作成し提出する
 (2) 所属機関発行の、支払日、支払先、金額が記されている一覧表を添付して提出する。

【国際会議助成】

- (1) 国際会議発表助成対象者は、当該国際会議の採択通知書のコピーを財団事務局に送付しなければならない。
 (2) 報告書の提出

対象区分	提出書類	期限
国際会議発表助成	・国際会議パンフレット ・発表論文別刷 ・経理報告書	国際会議終了後 1ヶ月以内
国際会議開催助成	・国際会議パンフレット ・経理報告書	国際会議終了後 1ヶ月以内

- 経理報告書： (1) 指定の報告用紙をダウンロードし、費目別に支出内訳表を作成し提出する
 (2) 所属機関発行の、支払日、支払先、金額が記されている一覧表を添付して提出する。

5. 申請手続

(1) 応募方法

”応募方法(国内研究・国際会議)”より申請書をダウンロードし、E-mailに添付してください

(2) 応募期間

平成23年4月1日(金)～5月19日(木)23:59 厳守

*最終日は応募が殺到し、締切り時刻までに受信できない場合がありますのでご注意ください

6. 助成対象者の決定

当財団の選考委員会における公正な審査結果に基づき、理事会で助成対象者および助成金額を決定し、その結果を理事長から申請者に通知する。(7月末予定)

7. 助成金の交付

助成金は選考結果に基づき下記を上限として交付される。

【国内研究助成】 (円/件)

	萌芽的研究	一般研究
自然科学分野	500,000	1,500,000
社会・人文科学分野	400,000	700,000

注意

①助成金は採択された研究テーマに直接必要な費用に使用してください。

【国際会議助成】 (円/件)

	助成金交付額
国際会議発表助成	250,000
国際会議開催助成	500,000

注意

①国際会議発表に対する助成金交付は、申請された研究が国際会議で受理されることを条件とする。

助成対象者は国際会議の採択通知書のコピーを財団事務局に送付し、受理の通知をしなければなりません。

- ②申請されたものと同じ発表テーマで、他の法人から助成を受けている場合は助成金の交付は行いません。
- ③国際会議での発表や会議開催に必要な旅費、参加費、会場費など直接経費に使用してください。

《留意事項》

当財団の国内研究助成あるいは国際会議助成への応募に際しては、下記事項を留意のうえ応募して下さい。

1. **研究成果の取扱い**
水環境に関する技術の振興に資するため、助成対象に採択された研究テーマ等を当財団ホームページで公開し普及を図る。
 - (1) ホームページに「研究題目一覧」を設け、助成研究者の研究者テーマ、氏名、所属機関を掲載します。
 - (2) ホームページに「研究成果報告書の請求」窓口を設け、閲覧希望の方に研究成果報告書のコピーを郵送します。
* 研究成果報告書は、研究者が了解しない場合を除き原則公開とする。
2. **変更・中止の取扱い**
助成金受給者は、下記の場合その旨を財団理事長に事前に報告し、承認を得なければならない。
 - (1) 採択が決定した後、研究内容の著しい変更をしようとするとき、または中止しようとするとき。
 - (2) 国際会議の発表、開催を中止しようとするとき。
3. **取り消し又は返還要求**
助成金受給者が次の事項に該当する場合は、助成金の交付決定を取消または助成金の返還を求めることがある。
 - (1) 財団理事長に事前に報告することなく、助成対象となっている研究を中止あるいは著しく規模を縮小するとき。
 - (2) その他、成果報告書、経理報告書など受給者としての義務に著しく反する行為があった場合。

以上

● 書式ファイル

平成23年度 応募方法 (国内研究・国際会議)

- 国内研究助成あるいは国際会議助成への応募は、[募集要項](#)を参照のうえ、下記の方法で所定の申請書を作成し財団事務局に提出して下さい。

1. 申請書

該当する申請書を下記より選択し、ダウンロードして下さい。

- | | | | |
|----------------|-------------|---|-----------|
| 1) 研究助成申請書 | Word(doc)形式 | ／ | 圧縮(zip)形式 |
| 2) 国際会議発表助成申請書 | Word(doc)形式 | ／ | 圧縮(zip)形式 |
| 3) 国際会議開催助成申請書 | Word(doc)形式 | ／ | 圧縮(zip)形式 |

※国内の大学に所属する海外からの留学生につきましても、所定の申請書にて提出して下さい。(所属機関、住所以外は英文でも構いません。)

※国際会議発表・開催助成申請の場合、会議開催パンフレット・HP等会議の概要がわかるものを必ず申請書の最終頁に添付して下さい。

2. 募集期間

平成23年4月1日(金) ～ 5月19日(木) 23:59 厳守

※最終日は応募が殺到し、締切り時刻までに受信できない場合がありますのでご注意下さい

3. 送付先 ・ お問い合わせ

f-kurita@kwef.or.jp

※ 申請書は「記入例(3～4ページ)」を削除し、必ず**Word(doc形式)**にて保存した後、メールに添付して送付して下さい。ファイル名は申請者名として下さい。

